

2022年6月事業部会「定例会議(林の日)」議事録(案)

2022.6.15 作成

日 時：6月9日(木) 17:45~19:30

場 所：世田谷区宮坂区民センター 3階 中会議室

出席者：17名(以下敬称略)

長谷川守、脇本和幸、古谷一祐、三井大造、横井行男、小川里花、榎田幹夫、瀬川真治、丸山正、枝澤修、飯島雅巳、臼井治子、浅井記子、宮入芳雄、藤岡眞、石川雄一、氏家清高

欠席者(事前連絡)：丹野修、飯塚義則、芝原久、鍛冶健二郎、陣野益実

議事進行：脇本和幸 書記：臼井治子

議 題

(以下敬称略)

(1) 全体(確認・連絡・報告事項)

1. FIT運営委員会(森の日)報告 / 6月(6/16)審議予定
8月11日山の日グリーンクリーンの特別活動支援金の審議を行う。(長谷川)
2. 事業部会ML及びHPの現況(代読：脇本) (飯塚)
ML登録：153名(先月と同数)
HPの状況：ふれあい推進事業、高尾山GC作戦、受託業務(外部案件)、内部活動(低山はいかい、クラフトイベント等)、会員のページに順次掲載。詳細は事業部会ML参照。

(2) 各担当の報告等について

1. 森林ふれあい推進事業
1) 体験参加者の応募状況について (脇本)
参加者が少ないのはこの制度が浸透していないとの感触から、令和2年(三井さん)、令和3年(氏家さん)にお願いして同期に呼び掛けてもらう。また新人がターゲットということだが、働いている人はなかなか普通の日に参加は難しいため、新人だけではなく、参加できない他の期の人も参加できるかを質問され了解した。
2) その他 (長谷川)
 - ・ふれあい推進事業後に森林ふれあい推進センターに出す写真(2~3枚)の中にFITの腕章を付け、森林インストラクターとわかる姿の写ったものを1枚必ず入れてほしい。
 - ・森林ふれあいマニュアルを差し替えてほしい(4/12付)。
シート「チラシ・様式」：文言”8月11日は国民の祝日「山の日」です“を削除
シート「マスコミ掲載等一覧表(新)」：
 - ① (株)朝日新聞 media プロダクション マリオン編集部：削除
 - ② アサヒ新聞 東京総局：追加
 - ③ (株)ショッパー社八王子支局 ショッパー編集部：削除

(実績)

- 1) 風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ(代読：脇本) 2022.5.24(飯塚)
 - ・申込者46名、抽選で40名に絞り、最終的に34名参加した。今回チラシの作成はその効果に疑問が残ることからしなかったが、複数回答で参加者のほとんどが年間計画表、FITあるいは森林ふれあい推進センターHPを見て申し込み(31名)、幹事からのメール(5名)、友人、知人からの照会(4名)と続く。
 - ・マスコミ掲載は読売新聞、掲載依頼は他に朝日新聞、アサココ、定年時代
 - ・歩行の遅い参加者が1名いたが、基本的には問題なく、全員最後まで歩きとおす。一方、足場の悪さ、参加者の経験のばらつき等で計画の時間内で歩けず、次年度以降解散時間を遅くするか、スタート時間を早めるなどの対策が必要と考える。
 - ・参加者の中に水の用意が十分でない人がいてスタッフが持参したペットボトルを分け与える、連絡がつかないまま当日欠席などのマナー違反事例が見られたが、そういった事例にも対応を図っていくことが求められる。
- 2) セッコクと初夏の草花を訪ねて 2022.5.31(藤岡)
 - ・下見時にスタッフ1名が体調不良で、本番を含め参加不可となったが急遽補充して予定通りの人員を確保できた。
 - ・応募者50名、抽選で36名となる。当日は天気が良くなかったが朝には雨が上がるという予報だったので実施となった。ただ朝にはまだ雨が降っていたこともあり、当日朝に12名のキ

キャンセルがあり、参加者 24 名となった。歩き始めるころに雨は上がり、セッコクやイナモリソウ、サイハイランも見られて参加者には満足をいただけた。

・参加者が減ったため 5 班を 4 班に減らして対応した。高尾山は平日でも人が多いため、セッコクは上を向いてみるので出発するとき他の人にぶつかりそうになっていたの、注意したほうがよいと思った。

・マスコミ掲載：読売シティライフ (1 名)、定年時代 (12 名)

・応募内容：HP 5 名、年間一覧表 5 名、ちらし 5 名、他 ・メール 24 名、ハガキ 26 名

(予定)

1) 初夏の奥高尾 静寂の林道ハイキング (代読：脇本) 2022. 6. 19 (鍛冶)

・申込者 45 名、当選 40 名、キャンセル待ち 5 名

・マスコミ掲載：読売シティライフ (7 名)、アサココ (5 名)

・応募内容：HP 6 名、年間一覧表 12 名、ちらし 9 名 他 ・メール 30 名、ハガキ 15 名

・6/5 (日) 下見 (スタッフ全員参加、スタッフ変更：内藤さん⇒飯島さん)、5 班体制。

・トイレ環境 (林道にトイレ無し) について参加者にお知らせ。

2) 高尾山 初夏の親子自然観察会 2022. 6. 26 (氏家)

・読売新聞多摩版に掲載され、現在 6 家族 1 グループ 23 名の応募あり。締め切りが 6 月 10 日。ふれあい推進センターのハガキ確認は 6/12 (日) 予定。

・班長 5 名決定、11 名のスタッフだが人数は大丈夫か？ (長谷川) ⇒ 大丈夫だと思う (氏家)

・宮入さんにはこれから FIT を背負って立つ若い代がやるので参加してほしい。(長谷川)

⇒ 対応します。(宮入)

3) 高尾山の樹木を楽しむハイキング 2022. 7. 1 (長谷川)

・アサココ (6/2)、定年時代 (6/6) に掲載される。現在 32 名の応募あり。はがきで応募してきた人の中には「草花は教えてもらったが樹木はあまり知らないので楽しみ」と書いてあるものもあった。体験参加者に小野さん (R 2)、栗原さん (R 3) 応募有り。

4) 小下沢の溪流ジャブジャブ歩き 2022. 7. 17 (石川)

・現在 7 家族 21 名の応募あり。マスコミは「行こうよ」に掲載

5) 山の日制定記念 まるごと！高尾山 GREEN CLEAN 作戦 2022. 8. 11 (楨田)

・6 月初めにチラシを HP に掲載。6 月 1 日から募集。FIT 案内は今月末からの予定。

・募集は 25 名 (FIT+一般)

・3 コース A : 599~6 号路~高尾山山頂~1 号路~599 B : 599~稲荷山~山頂~1 号路~599

C : 599~病院道~4 号路~山頂~1 号路~599 599 : 599 ミュージアムの略

・活動助成金 (¥52, 000) を申請、来週の森の日で承認予定。スタッフ等への交通費 3, 000 円

2. 田園調布学園土曜講座 (小川)

・5 月 14 日「江戸から東京へ～東御苑の歴史と自然を学ぶ～」参加 7 名 (中 1 : 1 名、中 2 : 2 名、中 3 : 2 名、高 1 : 4 名)。スタッフ 2 名 (清水好博、島崎肇一)。雨の中、2 班体制で実施。

・5 月 21 日「高尾山の自然と友達になろう」生徒 23 名 (中 1 : 3 名、中 2 : 8 名、中 3 : 9 名、高 1 : 3 名) スタッフ 3 名 (長谷川守、三井大造、小川里花)

・雨だったが全員無事に下山できて高尾山の豊かな自然を満喫できたようだった。アンケートでは雨の中でもできる限り多くの植物を紹介してもらえて楽しかったですなどあり。

・雨が降ってしょんぼりしていた生徒たちに、ケーブルカー高尾山駅横の天狗焼の話をし、天狗焼を食べてみんな喜んでいた。(長谷川)

・6 月 11 日には草笛体験を実施予定

3. クラフト等イベント担当 (丸山・枝澤)

第 31 回 みどりとふれあうフェスティバル 木場公園 5/15 (日) [5/14・土⇒雨の為中止]

・スタッフ 32 名 助成金を二日間で 12 万円申請 (60×2000) したが、14 日が中止となったため、15 日の必要経費を引いて返却。必要経費としてはフェイスシールド、テーブルクロスや消耗品などで 66, 642 円支出。(60, 000 円: FIT 交付金、6, 642 円: 事業部会負担)

・ブースはケムンパ、鉛筆ブローチ、ブンブンゴマ、ブーブー笛、押し葉のしおり、ヒノキの実のブローチ、ミサンガ・ドリームキャッチャー、漢字クイズ、樹木観察会で延べ 530 名の参加があり、全体の売り上げは 72, 100 円だった。

・日比谷公園よりも会場が広いため、人が並んだ時の交通整理が必要だと思った。

・スタッフ 32 名、会場には予想以上に人が集まり、ヒヤリハットもなく、まずまず成功だと考える (当初、スタッフの応募が少なかったため数回協力メールを出した)。

- ・今回初めてだったが、周りが団地だったためたくさんの子供が集まった。来年も木場公園でやるように提案したらどうか（枝澤）
 - ・ヒノキブローチ担当だったが、子供がやっているのに手を出したくなる。見守るのが大事で子供に最後までやらせることが必要。
 - ・思いのほか盛大だった。子どもたちも満足していた。（古谷）
 - ・ブンブンゴマ担当だったが、子供たちに絵をかかせて自分でやるように心掛けた。参加費 100 円だったが 200 円でも良いと思った。（三井）
 - ・押し葉のしおり担当、場所を取るし時間がかかるので待ってもらう人が多かった。箱から押し葉を選ぶときに押し葉が粉碎してしまい、材料がなくなり早めに終わった。ただ、できたものはきれいで皆喜んでた。（浅井）
 - ・グルーガンを使うところがいくつかあったが、危険なのでスタッフのみとした。（丸山）
 - ・今回は 14 日が中止になって 15 日だけだったが、1 日目に材料がなくなったら二日目は出来なくなることはないのか？（槇田） 1 日目、2 日目とそれぞれのブースの担当者がいて、その人たちが材料の準備をするので大丈夫である。（丸山）材料を準備するのは大変なので、今後その手当を考えたほうがよいのではと思う。（長谷川）
4. 高尾山 G C 作戦（槇田）
- ・実績：6 月 4 日（土） 蛇滝-吊り橋コース 参加者:FIT 4 名、一般 31 名、スタッフ 7 名
蛇滝からのコースはトイレが 1 つだけなのでトイレ待ちの時間が 25 分程度かかった。
帰りの道で転んでひざを擦りむいた人がいたので大事を取ってケーブルカー利用で下って頂いた。あとで電話して様子を聞いたら大丈夫ということだった。
 - ・予定：7 月 2 日（土） かつら林コース 現在 5 名ほどの応募あり
5. 低山はいかい（瀬川）
- ・実績：5 月 29 日（日） 歴史と景観の山、大平山・晃石山とその山麓を巡る 主幹事：飯塚
場所が栃木と遠くて天気もよくて暑かったが、意義のある低山はいかいで好評だった。
18 名の応募があり、1 名キャンセルで当日 17 名参加
 - ・予定：6 月 22 日（水） 神奈川県横須賀市「猿島」 主幹事：福重
現在 15 名の応募あり
6. 外部案件（横井） 別紙参照
- ・外部案件のマニアルの見直し
保険に関して原則保険は主催者側が掛けることをお願いするが、場合によって F I T 側はボランティア保険で対応しても良い。学校行事（授業の一環）の場合は F I T 側も学校側に保険を掛けて頂く（保険代金は F I T 側負担）。*コーン保険は主催者である事が必須要件。
 - ・F I T のフォーマットと事業部のフォーマットが Excel と Word と異なっているが統一できないか（丸山） ➡ できるだけ統一したい（長谷川）
 - ・八王子の小学校の高尾山登山の講師依頼：第 3 小学校は 9 月に打診有り。七国小学校に打診してほしい。（長谷川）
7. 会計報告（古谷） 別紙参照
- 会計報告で今年度はコロナの規制もないため 3 回のふれあいが開催できているため、協力金が 4,000 円×3 回で 12,000 円となっている。

(3) その他

環境保全とイベント実施について意見交換（高尾山地域について）

（高尾山のオーバーユース、日影沢、木下沢での沢歩きや水生生物観察、立入禁止地域での観察など）

- ➡ F I T イベントによる環境への負荷（影響）について、良し悪しの判断は出来ない。
- ➡ F I T 会員は環境保全を望んでいるので自ら環境への負荷をかけるような行為はしていないと思いたい。子供たちへの環境教育も大事である。
- ➡ 高尾山は年間 300 万人も訪れていると言われており、環境への負荷は少なからずあるが山麓やハイキングコースにあるお茶屋さんは 1 人でも多く来てほしいと思っている。
- ➡ 多くの植物愛好者も懸念を抱いており、年々貴重な植物が姿を消したり、減少している現象を痛感しているが、どうにもならない。
- ➡ 環境保全と人の営み、欲求（好奇心）とは相反する部分もあり、協調できるように多くの皆さん、関係者の知恵で良い方向に向かってほしい。

以 上